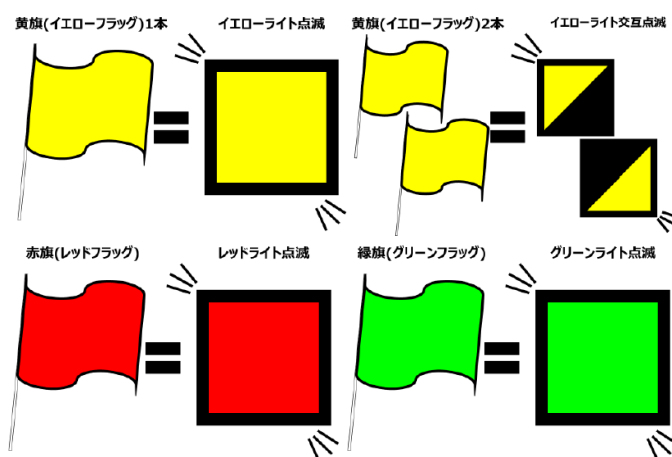


Moto フェスティバル走行会 ブリーフィング資料

1. 走行時の注意事項

必ず参加受付を済ませたライダーが走行してください。

- ① 各グループとも走行開始 1 周目はコース・車両、そして監視ポスト位置の確認し、慣熟走行してから速度を上げた走行をしてください。走行開始直後の転倒が非常に多いので特に気をつけてください。
- ② コースイン時は、ホームストレート走行している車両を配慮し、**第 2 コーナー出口まで**コース右端を走行して、後方確認をしたのち、徐々にレコードラインに合流してください。
- ② ピットインする場合は、**ヘアピンカーブ出口**より後方確認をしたのち、コース右端を走行し、後続車両に手などでピットインする合図をしてください。
- ③ 赤旗が提示された場合、前後車両に注意して右側に寄り、減速し、前車を追い越さずにその周に必ずピットインしてください。
- ⑤ ピットレーンでのスピード制限は **60km/h 以下**です。
- ⑥ コース内のライトパネルは、右記の通りフラッグと同じ意味です。



- ⑦ 走行前には必ずオイル漏れのチェックをしてください。

※オイルチェックはある程度回転数を上げてから、一定時間チェックしてください。

※オイルチェックとともにブレーキ系のチェックも行ってください。

※オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップはワイヤーロックをして、閉め忘れがないかご確認してください。

《オイルがコース上に出ると、走行が中断されます。中断されている時間は延長となりませんのでご注意ください》

- ⑧ スロー走行時の注意

トラブル等でスロー走行をする場合は、**コース右端を走行**し続けてください。(左右端へ走行ラインを何度も変えない。)

また、進路変更する場合は後続車に対し合図を出し、後方を確認してから進路変更をしてください。

※「**合図を見せてから動く**」を徹底してください。

- ⑨ コースインする場合はアゴひもとエアバックのコネクターケーブルが接続されていることを必ずご確認ください。

- ⑩ 車両のチェックを必ず行ってください。特にブレーキ関係は何度もチェックしてください。また、ボルトの仮締めは“うっかり締め忘れる”恐れがあり大変危険です。

- ⑪ 車両の異常を感じたら、早めにピットインして確認をしてください。

2. 転倒等のアクシデントについて

- ① 転倒してしまったら、まず安全な所にできるだけ早く逃げてください。オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきますのでご注意ください。余裕がある場合は車両を安全な場所まで移動してください。(グラベルを脱出するコツ・・・車両から降り、ギアをローに入れ、少しずつタイヤを回転させて移動してください。)

- ②転倒後は、後続車に対しポストから黄旗を振り注意を促しますが、転倒したライダーもできる限り後続車に知らせる努力をしてください。
- ③転倒後の車両のチェックは安全な場所(ガードレールのそば)で行ってください。コースサイドでエンジンをかける行為は危険です。再スタートを試みる場合は安全な場所（グリーン上など）でエンジンをかけてください。
- ④走行可能な場合、カウリング内の砂利、草等を落とし、タイヤの泥なども落としてから余裕を持ってレコードラインを外しコースに復帰してください。
- ⑤走行できない場合、ライダーはガードレールの外に避難し、ガードレールの外に出るまではヘルメットを着用してください。
- ⑥走行できない場合は、走行終了後に車両を回収しますので、ガードレールの外側にマシンを止めてください。またケガをしていない場合は回収にご協力ください。回収した車両はピットまでお届け致します。
- ⑦もてぎ・鈴鹿（MS）共催会の規約に従い、コース上で発生した事故にて身体に被った傷害に対し見舞金が支払われます。当日にメディカルセンターを受診し、負傷状況を記録する必要があります。

3. 初心者ビブゼッケン

走行経験の浅い方は、周囲のライダーに知らせるために黄色ビブゼッケンを着用して走行してください。このビブゼッケンは受付カウンターにて配布いたします。（1チーム 1 枚です。）黄色いビブを見たら“思いやりを持って”走行してください。ギリギリでの追い越し、ラインを塞ぐ行為はしないでください。初心者の方は後ろから速い車両が来ていても、ラインを変えずに走行してください。変にラインを譲ったりすると危険です。黄色ビブを着用しているライダーへの接触・進路妨害などが見受けられた場合はイエローカードが提示されます。（イエローカードが 3 枚提示されますと本戦に出場することができません）

4. ピット・ピットレーン・パドックのご利用について

- ①ピットレーン・ピットガレージ内は火気厳禁です。タバコは指定の場所をお願いします。
- ②お子様連れのお客様は、お子様の安全確保に注意してください。ピットレーンへの立ち入りは禁止です。
- ③MS 共済会に入会していない方のピットレーン・ピットサインエリアへの立ち入りはできません。
立ち入る場合は、暫定共済会に入会していただく必要がございます。また、パドックへのペット同伴はできません。
- ④ピットレーンを横断する際は、後方から来る車両があるかどうかの安全確認を行ない、最短距離で横断してください。
- ⑤ピットレーン・ピットサインエリアでは傘など風で飛ばされる物の持込みはできません。
- ⑥コースインする際は、各自のピットからピットレーンの係員のいる場所までお進みください。
係員が走行券・ヘルメットのあご紐・簡単な車両チェック等をおこないます。
- ⑦走行券はタンク右側に貼ってください。
- ⑧サービスロードは救急車両が通行します。競技車両は走行しないでください。
- ⑨パドックでの練習走行・慣らし走行は厳禁です。

5. 代表者ミーティング

13:45 から、フリーフィングルームにて代表者ミーティングを実施します。これから大会当日までの流れをチーム代表者の方にご説明します。チーム代表者の方は責任を持って内容をチーム全員にお伝えください。参加は任意です。

6. 初心者走行枠

- ①走行時間になったら、一度バス走行にてコース解説を行います。1 番ピット前に、ツナギを着て集合してください。
- ④ バス走行終了後、競技車両を準備の上、マーシャルバイクの後方へ並んでください。先導走行を行います。
- ⑤ 前半はコースイン、ピットインのライン確認のため、3 周毎にピットインを繰り返します。途中でライダーを交代することも可能ですが、ライダー交代は 1 番ピット前で交代してください。後半はフリー走行を行います。引き続き先導走行を希望する方はアドバ

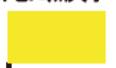
イザーまでお申し出下さい。初心者走行枠では初心者用ビブゼッケンを付ける必要はありません。

慣らし走行を行う場合、隊列の後方に並んでください。また走行に際しては「ピンク」のビブを着用し、コース右側を走行してください。

《 重大事故を招く多い事例 》

- ① コースサイドでの再スタートと車両確認 ② 赤旗・黄旗無視 ③ ダブルチェッカー④ 急なラインの変更 この4つが毎回多く見られます。特に“急なラインの変更”は重大事故に繋がります。ご注意ください。

SIGNAL FLAGS 公式シグナル

国旗  レーススタート (振り降ろされた瞬間にスタートです)	白黒斜分割旗  静止:前方にスロー走行車があることを示す。 振動:スロー走行車と走行ラインが重なる場合。	黄旗(イエローフラッグ)  危険予告 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追い越し禁止。	白旗(ホワイトフラッグ)  救急車両等の介入車両がある。追い越し禁止。
赤ストライプ付黄旗  雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態。(オイルもれの可能性やコース上に落下物がある場合も含みます)	緑旗(グリーンフラッグ)  ・コースクリア ・先に提示された黄旗の解除。 ・レース以外の走行の1周目に各ポストで提示される。 ・サイティング/ウォームアップのスタート合図。	赤旗(レッドフラッグ)  すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。	黄旗(イエローフラッグ) + 白地に黒文字のサインボード   SC ボード ベースカー介入によるレースの非競技化 (注意・減速・追い越し禁止)
青旗(ブルーフラッグ)  後方よりベースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動提示される。	レッドクロス (赤い斜め十字の入った白旗)  コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。振動提示される。	レッドクロス + 赤ストライプ付黄旗   コース上のこの付近において、雨が降り続けていることを示す。振動提示される。	青旗 + チェッカーフラッグ   トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーはもう1周しなければならぬ。
チェッカーフラッグ  レース終了	黒旗(ブラックフラッグ) + 黒地に白文字サインボード   サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインする。	ペナルティストップボード  サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし一旦停止のペナルティを受ける。ピットイン時にピットや給油所に立ち止まらず、ピットレーンエンドのペナルティストップエリアに進んでください。	オレンジボール旗 + 黒地に白文字のサインボード   提示されたゼッケンナンバーのライダーは早急にコース上から退去し安全な場所に停止すること。
ライドスルー  サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし、ピットレーンを通過するペナルティを受ける。ピットイン時に自己のピットには立ち止まらず、ピットレーンを通過してください。			

MOBILITY RESORT
MOTEGI

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
TEL.0285-64-0200 FAX.0285-64-0209

SC（セーフティーカー）訓練について

120 分走行枠時間内に、決勝中の『**競技の一時中立化**』を想定した SC 訓練を行う。

・走行開始約 10 分後 SC 導入 想定訓練後解除予定

特別規則書 第 1 条章 レースの一時中立化 第 30 条 セーフティーカーの導入従って運用される。**事故発生時に競技監督の判断によって、セーフティーカーが介入してレースを一時中立化し、スロー走行で先導し、競技の一時中立化を行い、その間に事故処理を行う。**



SC 訓練 実施手順

① セーフティーカー導入

フラッグマーシャル全ポストから**黄旗振動**と「SC」と書かれた白いボード

（以下 SC ボード）が提示される。**全ライトパネルは以下の表示がされる。**



注意：本来、全ポストでの対応となるが、練習走行のため以下のポストのみで**黄旗振動**と「SC」と書かれた白いボードでの対応とする。

<ロードコース 訓練中のポスト配置場所>

全 15 ポスト

・0 番ポスト、1 番ポスト、2 番ポスト、3 番ポスト、4 番ポスト、5 番ポスト 6.8 番ポスト、8.0 番ポスト

9.0 番ポスト、10.0 番ポスト、10.2 番ポスト、10.7 番ポスト、11.0 番ポスト、12.0 番ポスト、14.0 番ポスト

(1) セーフティーカーは、トップ車両の位置に関係なくコースインする。

(2) 2 台目のセーフティーカーが隊列を 2 つに分けるように
コースインする。メインのセーフティーカーは NSX、
2 台目のセーフティーカーはシビックです。

(3) セーフティーカーが導入中も周回数はカウントされる。

(4) セーフティーカーを先頭に一列に整列し、それぞれ
車両 5 台分（10m）程度以内の車間距離を保持して走
行。

(5) 全ての車両は追い越し禁止となる。

セーフティーカールーフ上がオレンジライトの時は、
競技車両同士およびセーフティーカーの追い越し禁止。

注意：今回は練習走行中の訓練のため、トップ車両は主催
者で疑似トップ車両を決定し、以下の「送り出し」作業を行う。

また、セーフティーカーは 1 台のみ導入する。

(6) セーフティーカーはトップ車両の直前につくために車両を送りだす
作業を行う。

セーフティーカールーフ上のグリーンライトを使用し
競技車両をセーフティーカーの前に出るよう合図する。

セーフティーカールーフ上のグリーンライトの時は、
セーフティーカーを追い越すこと。

追い越したあとは、ペースを上げ隊列の後ろにつく。

(競技車両同士は追い越し禁止)



(7) SC 中にピットインすることは可能です。

コースインする場合は、ピットレーン出口のコースインシグナルに従うこと。



② 競技再開手順

(1) 次のコントロールラインからのレース再開を決定したら、セーフティーカーはオレンジライトを消灯する。

(2) セーフティーカーがピットインと同時に、
黄旗振動と SC ボードは一斉に撤去される。

(3) シグナルブリッジにグリーンライトが点灯され競技再開。

ただし、コントロールラインを通過するまでは追い越し禁止



以上